

3DEXPERIENCE プラットフォーム初回ログインガイド R2026x

3DEXPERIENCEプラットフォーム初回ログインガイドは、プラットフォームへの初回ログインに必要な作業項目と手順をまとめたドキュメントセットです。本資料では、プラットフォーム管理者とユーザーのプラットフォーム初回ログインに必要な作業項目と各項目で利用するドキュメントについて紹介します。

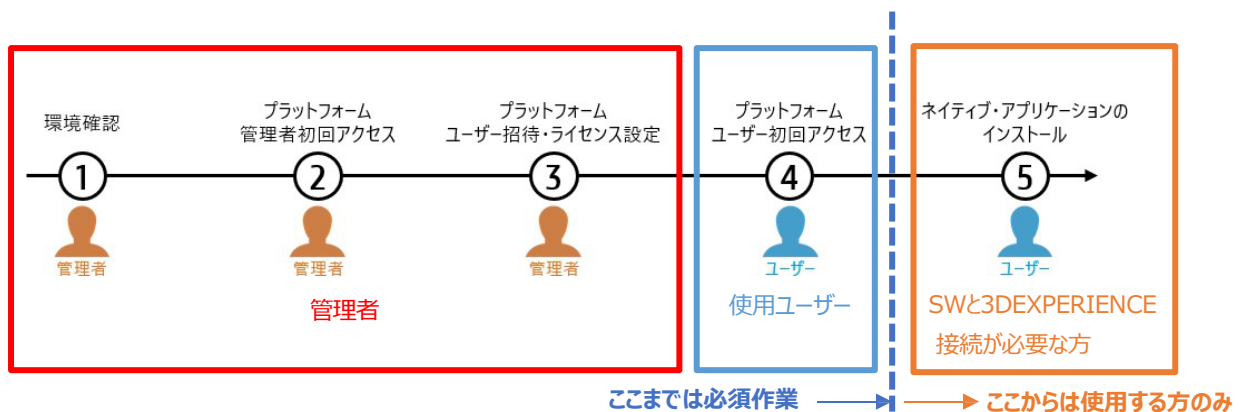
作業項目 と ドキュメント

SOLIDWORKS Design と 3DEXPERIENCE プラットフォームの接続にあたり、3DEXPERIENCE プラットフォームへのログインが必要となります。

プラットフォーム管理者とユーザーの初回ログインは次のステップで実施します。作業項目毎にドキュメントがございますので、各ドキュメントを参照して初回ログインを実施してください。


①～④までは、購入ライセンス数分の全ユーザーにて初回ログイン作業が必要となります。

また、SOLIDWORKS Design で作成した設計データを 3DEXPERIENCE プラットフォームに保存する場合は、ステップ⑤-ネイティブ・アプリケーションのインストールも合わせて実施してください。



	作業項目	作業者	ドキュメント
1	環境確認	管理者	1-クラウド適正確認ツール利用手順書
2	プラットフォーム 管理者初回アクセス	管理者	2-【管理者向け】プラットフォーム初回ログイン手順書
3	プラットフォーム ユーザー招待・ライセンス設定	管理者	3-【管理者向け】ライセンス設定手順書
4	プラットフォーム ユーザー初回アクセス	ユーザー	4-【ユーザー向け】プラットフォーム初回ログイン手順書
5	ネイティブ・アプリケーションのインストール	ユーザー	5-【ユーザー向け】ネイティブ・アプリケーションインストール手順書

- ◇ ユーザーのプラットフォーム初回アクセスが失敗する場合は、1-クラウド適正確認ツール利用手順書を参照し、ユーザーの端末で環境確認を行い必要な対応を実施してください。
- ◇ 管理者も 3DEXPERIENCE のライセンスを1つ消費します。3DEXPERIENCE での通常業務を担当される方を管理者にすることをお薦めします。初回アクセス者が管理者となります。

 YouTubeでも“プラットフォームの初回ログイン”に必要な作業手順を紹介していますので、是非ご視聴ください。

<https://youtu.be/t25bJa01qGk>



【参考】：複数ライセンスを購入し、マルチユーザーで使用すると以下の事が可能となります。

設計情報の“共有とマークアップ”を初めてみよう!

“共有とマークアップ”について

SOLIDWORKS を 3DEXPERIENCE プラットフォームに接続すると、SOLIDWORKS から直接、誰とでも設計情報を手軽に共有でき、フィードバックを得てすぐさま設計に反映することができます。また、設計ファイル共有にもご利用頂け、従来のメールやクラウドストレージでのファイル共有に要していた手間や時間を削減できます。

△ 共有とマークアップの利用には、3DEXPERIENCE SOLIDWORKS または、SOLIDWORKS Desktop 2023 SP3.0 以降が必要です。

“共有とマークアップ”のイメージ



共有とマークアップは、簡単な設定ですぐに初められますので、是非活用してみてください。

共有とマークアップのための設定と利用方法については、ドキュメント 5-共有とマークアップ利用ガイドを参照ください。

以上